日頃から当市でＮＰＯ交流会や市民活動の相談会を開き、市内の活動団体を支えていただいている「ふじのくに西部ＮＰＯ活動センター」のセンター長鈴木恵子さんに市民活動の必要性と在り方について伺いました。

さまざまなパートナーと

人口減少に歯止めのかからない今、市民活動は地域を存続するために必要不可欠です。まちづくりの主役は市民です。地域の課題は地域で解決することがとても大切になってきています。

一つの活動団体にできることは限られています。そこで重要になるのが協働相手の存在です。市民活動で協働というと行政が思い浮ぶかもしれませんが、行政は選択肢の一つに過ぎません。企業や他の活動団体と連携することで、思いもよらないコラボが生まれるかもしれません。市民団体として企業に信用してもらえれば、面倒な書類も必要なく継続した活動ができます。また、企業にとっても社会貢献の新しい形として取り組むことができるのです。失敗を恐れず、思い切っていろいろな企業や団体に声をかけてみてください。他の活動団体と協働することは、お互いの得意分野を生かすことで双方にメリットがあります。

団体同士が結び付き、日頃から互いの弱みを補い、強みをかけ合わせることが市民活動の理想的な姿ではないかと思います。

ふじのくに西部ＮＰＯ活動センター長
鈴木 恵子 さん

地域の課題を解決しようと活動している団体を紹介します

新野未来塾

●新野カカシ祭り（写真上）

毎年、市内各所から趣向を凝らしたカカシを募集。出展してもらったカカシを新野川の堤防沿いに並べて人気投票を実施している。教育委員会主催の体験活動「灯台村塾」では、子どもたちへカカシづくり講習をする「かかし村」も実施し、子どもの地域活動参加を促している。

●史跡整備とハイキング（写真中）

新野左馬助公の居城である舟ヶ谷の城山やその詰城（つめじろ）、それらを巡るハイキングコースの整備。整備だけでなく、歴史遺産を後世に伝えるためのハイキングイベントも実施している。

●新野川クリーン作戦（写真下）

河川敷の草刈りやコスモスの種をまくなど、きれいな新野川を守る河川愛護活動。新野未来塾主催で始まったが、現在は地区全体の行事へと拡大している。

●大河ドラマ「おんな城主直虎」応援プロジェクトへの参加

新野地区は高齢化がとても進んでます。このままではいけないと立ち上がったのが新野未来塾。新野には多くの歴史遺産や豊かな自然など、たくさんの宝物があることを発信していこうと結成しました。

地域の活性化のために多くの活動をしていることは誇らしくもありますが、新たな人が入ってくるのにハードルにもなっているのかなと感じます。「こんなに多くのこと、とてもできやしない」と感じている人には、あいている時間だけ参加しようと軽い気持ちで一歩踏み出していただけたらと思います。

新野未来塾のモットーは「ワイワイガヤガヤ町づくり」。新野を訪れた人が楽しめるのはもちろん、活動する側もにぎやかに楽しみながら活動したいですね。

新野未来塾会長
杉本 謙二 さん